取扱説明書

最初にお読みください

基本操作

応用操作

その他

AVセレクター

型名 JX-D300

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4、5ページ「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

主な特長

① D映像端子（D4対応）4入力、S映像信号→コンポーネント信号変換回路を搭載し、さまざまなAV機器を集中管理（☞22ページ）。
（コンポーネント端子がY/Cb/CrやY/Pb/Prの3ピンの端子しかない機器との接続は、別売りの3ピン-D端子の変換コードで接続してください。）

② ホームシアターに適した4入力2出力、モニター1出力（☞7、9、20ページ）。

③ ダビング中の別ソースモニターが可能なダビングロック機能搭載（☞18、23ページ）。

④ 信号の劣化が少ない、高画質な信号伝送（コンポーネント信号の映像周波数帯域は30MHz対応）。

⑤ 入力機器から出力されるS映像信号の有/無と連動して電源ON/OFFが可能なLINK（リンク）機能搭載（☞24ページ）。

もくじ

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵(マーク)が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指を挟まれないよう注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中には具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠警告

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグにはふれないでください。
感電の原因となります。

● この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードがJX-D300の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります(コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります)。

● 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。

● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。
  火災・感電の原因となります。
- 屋外や風呂場、シャワー室では使用しないでください。
  火災・感電の原因となります。

⚠注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
  火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

- 指定以外の乾電池は使用しないでください。
  また種類の異なる乾電池や新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
  間違えると乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
  乾電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  もし液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
  また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

本書の見かたと梱包品のご確認

●本書の見かた●

本書では、はじめて使うかたでも簡単に接続・操作方法が覚えられ 、さまざまなAV機器がお使いになれるよう、ビデオデッキなどを使った基本操作手順から、ホームシアターの構成など応用的な操作手順を説明しています。

また、内容を読みやすくするために次のようなマーク、記号を使用しています。

操作や手順に関する注意事項が書かれています。

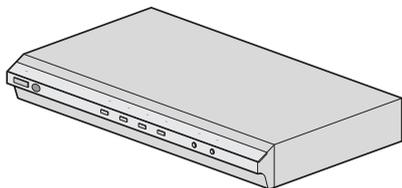
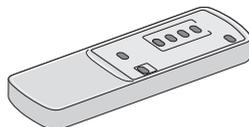
操作や機能などの付加的な情報が書かれています。

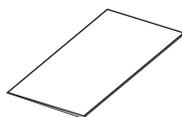
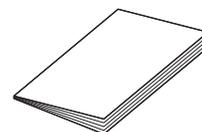
接続に関する注意事項が書かれています。

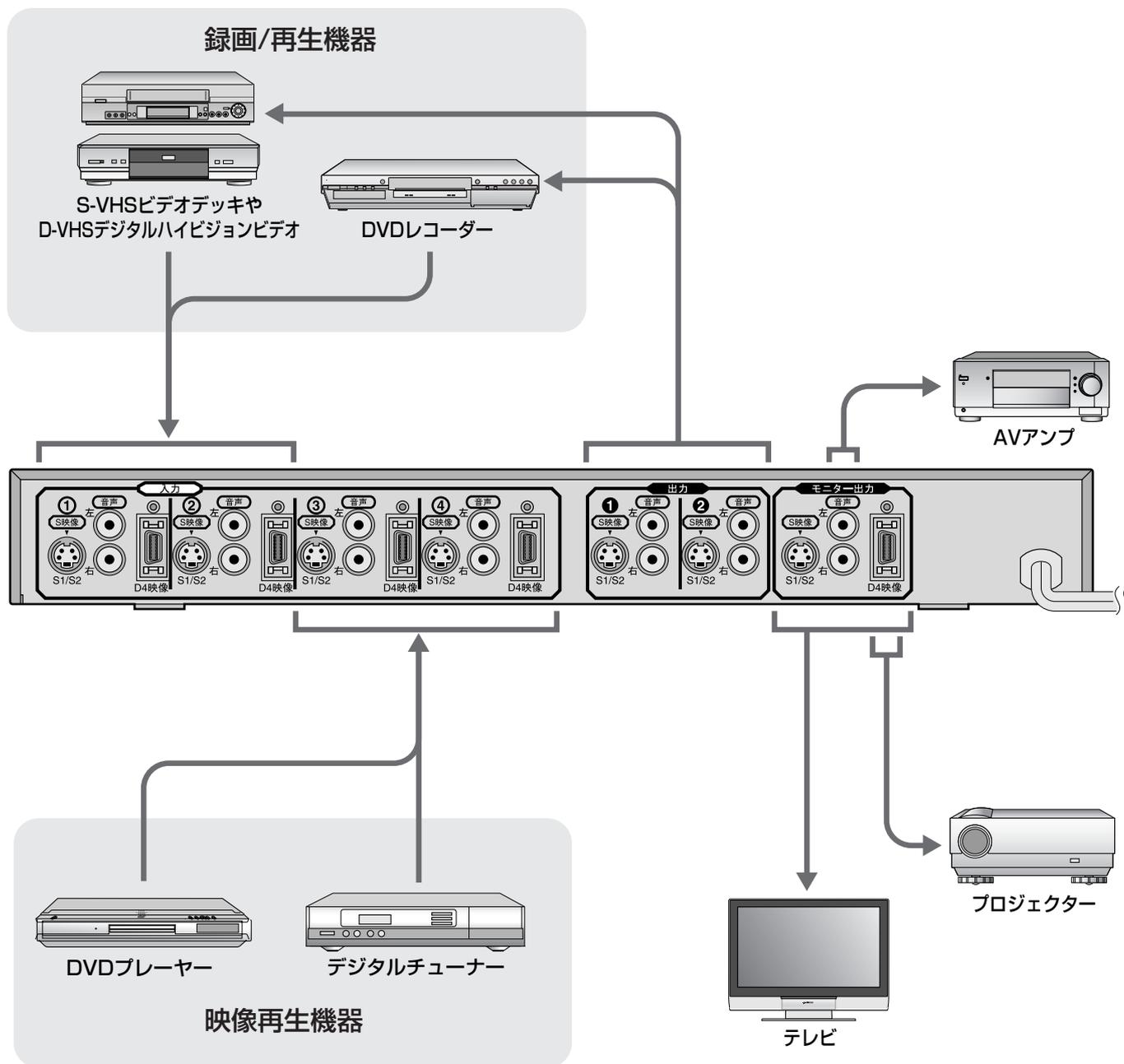
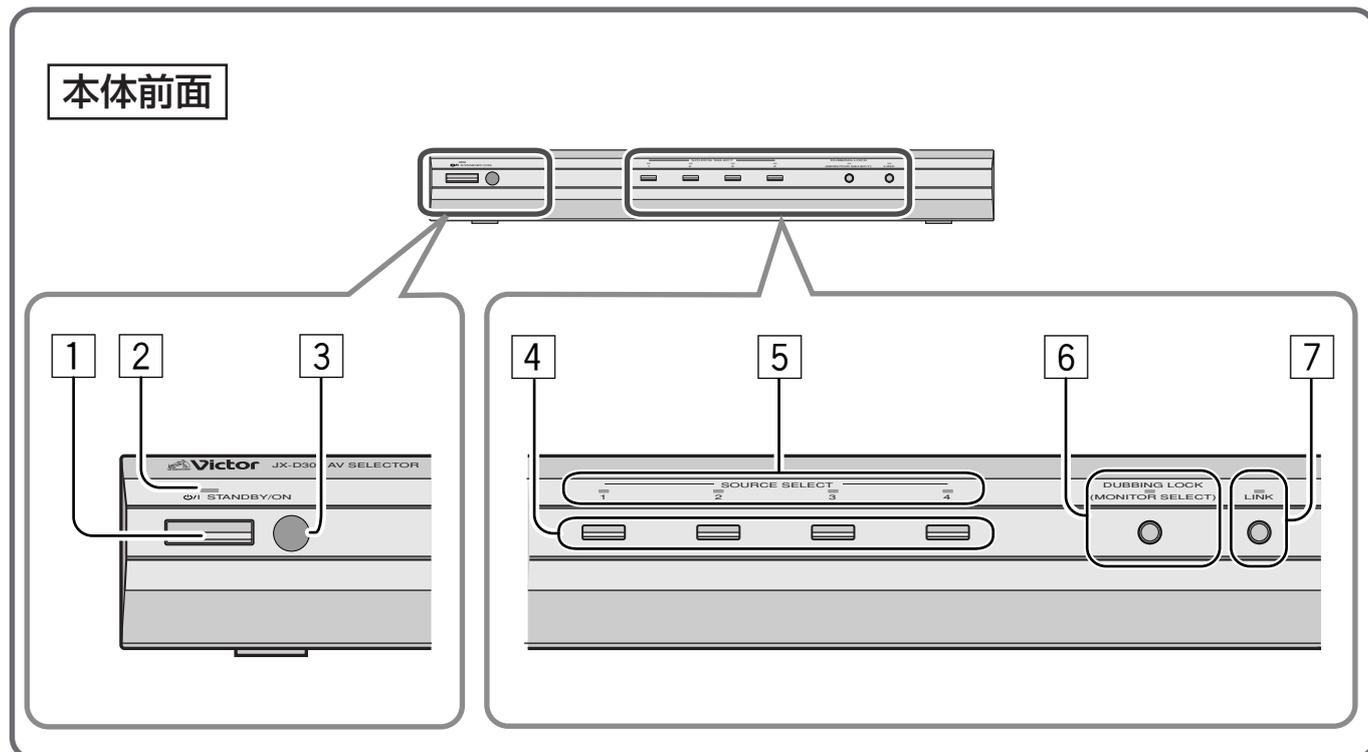
接続に関する付加的な情報が書かれています。

●梱包品のご確認●

AVセレクターJX-D300の箱には、以下のものが同梱されています。

本体（JX-D300）

リモコン（RM-AD300）

単3乾電池2本
（動作確認用）

保証書

取扱説明書（本書）

システム構成例

AVセレクターで広がるAVワールド

各部の名称

1 電源(⏻/I STANDBY/ON) ボタン

JX-D300の電源をON／OFF(スタンバイ)します。

2 電源(⏻/I STANDBY/ON)ランプ

JX-D300の電源が「ON」のとき、緑色に点灯します。
JX-D300の電源が「OFF(スタンバイ)」のとき、赤色に点灯します。

スタンバイ状態から再度、電源を「ON」にすると、電源を「OFF(スタンバイ)」にする前と同じ設定で使うことができます。

3 リモコン受光部

付属リモコンの信号を受信します。

4 SOURCE SELECT ボタン(☞13、15、17、19、21ページ)

入力機器を選びます。

5 SOURCE SELECTランプ (☞13、15、17、19、21ページ)

SOURCE SELECTで選ばれた入力のランプが赤色に点灯します。

6 DUBBING LOCK(MONITOR SELECT)ボタン、ランプ(☞19、21、23ページ)

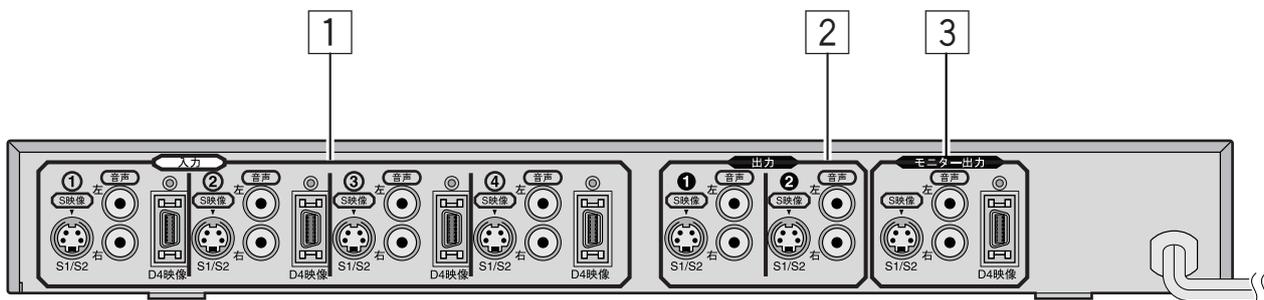
出力端子へ出力する系統を固定し、ダビング中の誤操作を防ぎたいときに押します。
「ON」のとき、ランプが赤色に点灯します。

- この状態で入力機器を選ぶと、出力端子でダビング中の映像はそのままに、モニター出力端子からの映像だけが切換わります。

7 LINKボタン、ランプ(☞24ページ)

入力機器からの出力S信号を受けて、その映像信号の有/無にJX-D300の電源のON/OFF(スタンバイ)を連動させることができます。
「ON」のとき、ランプが赤色に点灯します。

- **入力機器にS映像出力がないとご利用になれません。**

本体背面

1 入力端子（①、②、③、④）

入力機器を、最大4系統まで接続することができます。

S映像（S1/S2対応）、D映像（D4）、音声入力端子

DVDプレーヤー、デジタルチューナーなどのコンポーネント出力端子も接続できます。

- **コンポーネント端子がY/Cb/CrやY/Pb/Prの3ピンの端子を持つ機器との接続は、3ピン−D端子変換コードを使用します。**
- **D映像(D4)端子に入力された映像信号は、モニター出力端子のD映像(D4)端子にのみ出力されます。S映像端子からは出力されません(S映像信号には変換されません)。**

2 出力端子（❶、❷）

出力機器を、最大2系統まで接続することができます。

S映像(S1/S2対応)、音声出力端子

AV機器のS映像、音声入力端子と接続します。

3 モニター出力端子

テレビやモニターを接続します。

S映像（S1/S2対応）、D映像（D4）、音声出力端子

コンポーネント入力、またはS映像入力端子付きのテレビやモニターと接続します。

- **コンポーネント端子がY/Cb/CrやY/Pb/Prの3ピンの端子を持つ機器との接続は、3ピン−D端子変換コードを使用します。**
- **選んでいる機器の映像信号がS映像入力端子からのみ入力されているときでも、モニター出力端子のD映像(D4)端子から映像信号が出力されます(S映像信号→コンポーネント信号変換)。**

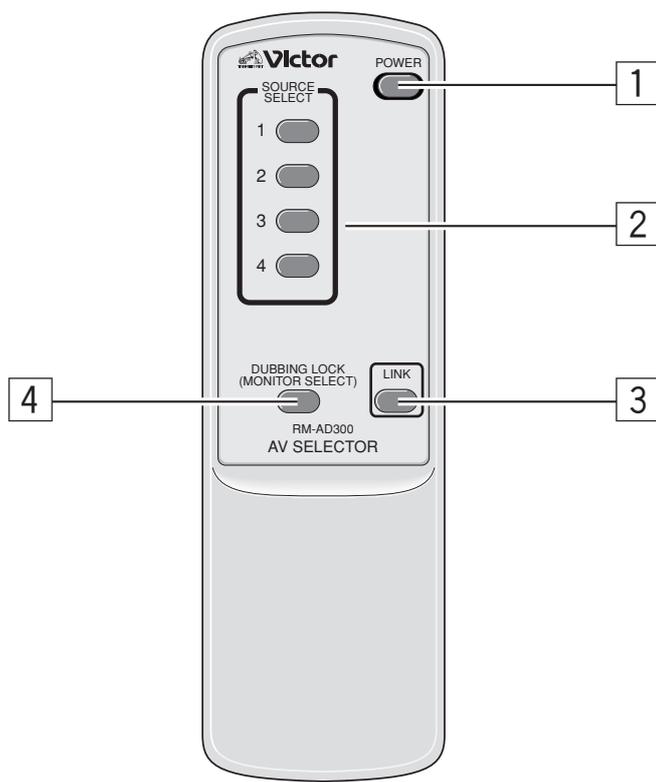
モニター出力端子を使用するときは

モニター出力端子から出力される映像信号の種類は、下表のようになります。

		入力される映像信号		
		S映像信号のみ	D映像信号のみ	D映像信号とS映像信号
モニター出力端子から出力される信号	S映像信号	○	×	○
	D映像信号	○*	○	○

○:出力されます　　×:出力されません

＊ S映像信号から変換されたD映像信号が出力されます（S映像信号→コンポーネント信号変換）。

リモコン

1 **電源(POWER)ボタン**
JX-D300の電源をON/OFF(スタンバイ)します。

2 **SOURCE SELECT ボタン**(☞**13**、**15**、**17**、**19**、**21**ページ)
入力機器を選びます。

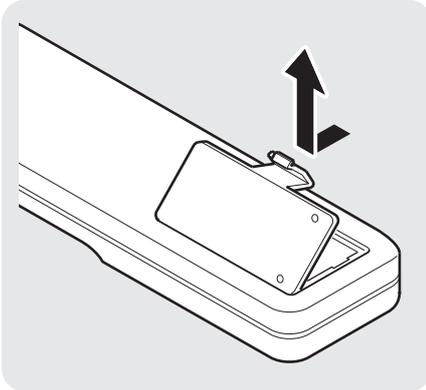
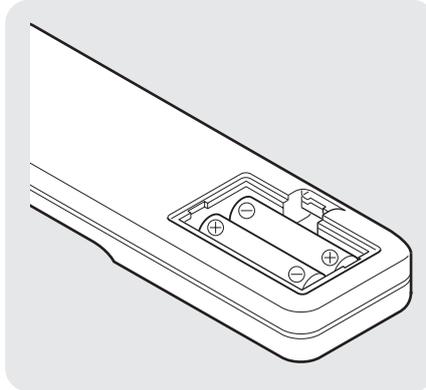
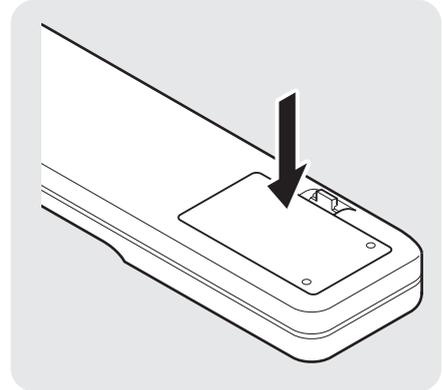
3 **LINKボタン**(☞**24**ページ)
入力機器からの出力S信号を受けて、その映像信号の有/無にJX-D300の電源のON/OFF(スタンバイ)を連動させることができます。

4 **DUBBING LOCK(MONITOR SELECT)ボタン**
(☞**19**、**21**、**23**ページ)
出力端子へ出力する系統を固定し、ダビング中の誤操作を防ぎたいときに押します。

- この状態で入力機器を選ぶと、出力端子でダビング中の映像はそのままに、モニター出力端子からの映像だけが切換わります。

リモコンの使いかた

乾電池を入れる

つまみを押しながらフタを開ける

単3乾電池(2本)を入れる

フタを閉める

ご注意

乾電池を使用するときは

乾電池の誤った使いかたをしますと液漏れや破裂の危険があります。次の点にご注意ください。
1. 乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
2. 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投げ入れたりしないでください。
3. 種類の異なる乾電池や、新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

●乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
※付属の乾電池は、お客様の動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。

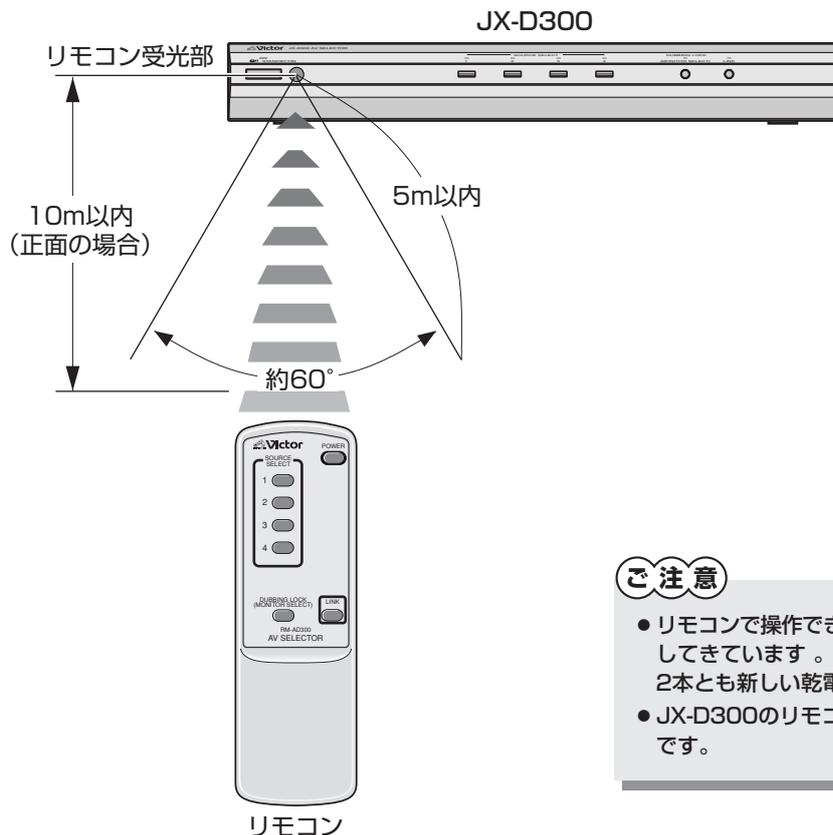
リモコンの操作範囲

JX-D300

リモコン受光部

10m以内
(正面の場合)

5m以内

約60°

リモコン

ご注意

- リモコンで操作できる距離が短くなったときは、乾電池が消耗してきています 。
  2本とも新しい乾電池(単3乾電池)に交換してください。
- JX-D300のリモコン信号はビクターAVセレクターBコードです。

再生映像を見る

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなどの映像再生機器をJX-D300の入力端子①に接続し、再生映像を見てみましょう。

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側　S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなど

：信号の流れ

S映像出力端子へ　(白)　音声出力端子へ　(赤)　D映像出力端子へ

(白)　(赤)

映像再生機器が録画にも使用できる場合

S映像入力端子へ　(白)　音声入力端子へ　(赤)

(白)　(赤)

S映像入力端子へ

(白)　音声入力端子へ　(赤)

D映像入力端子へ

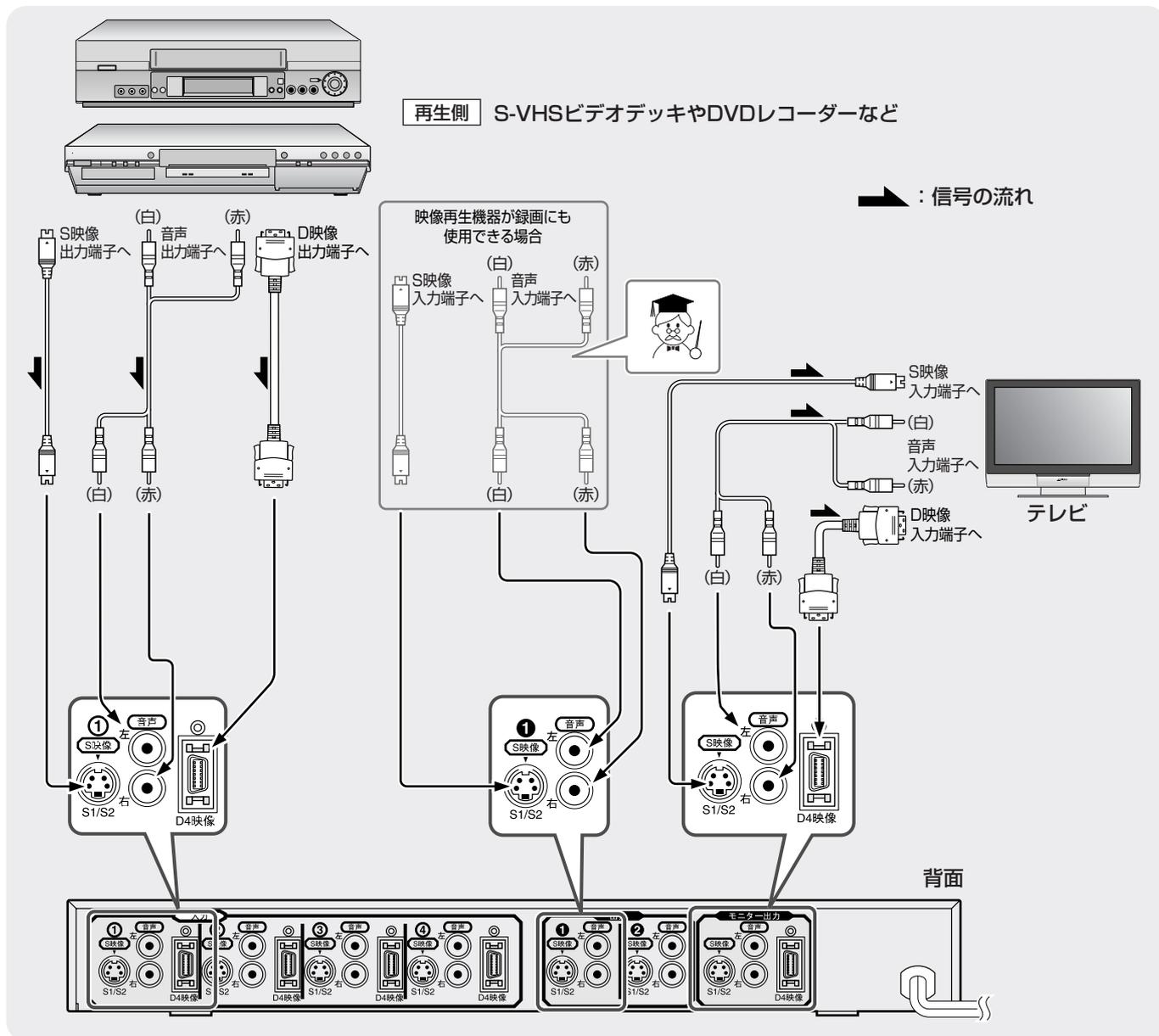
テレビ

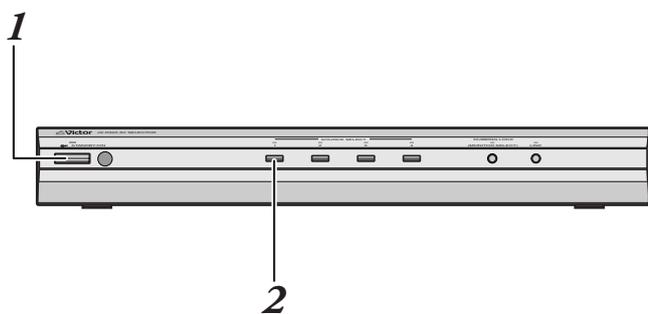
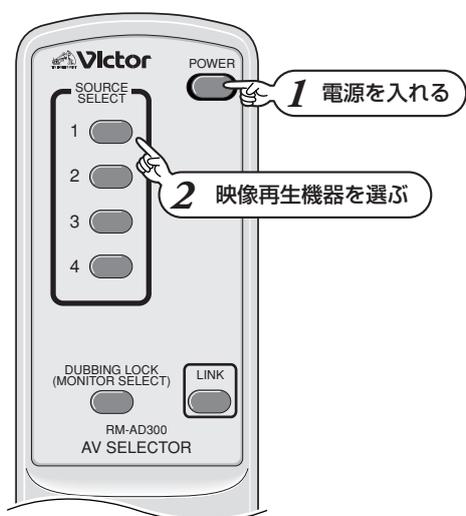
(白)　(赤)

① 音声 S映像 左 右 S1/S2 D4映像

❶ 音声 S映像 左 右 S1/S2

音声 S映像 左 右 S1/S2 D4映像

背面

- 映像再生機器やテレビにD映像入力／出力端子があるときは、D映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます**(S映像端子とD映像(D4)端子の両方をつなぐ必要はありません)**。
- S映像入力端子とD映像(D4)入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD映像(D4)端子から出力されます**(☞9ページ「モニター出力端子を使用するときは」)**。
- 入力端子①、②から入力された信号は、それぞれ次のように出力端子❶、❷に出力されます。
  - ・入力端子①に入力された信号は出力端子❷に出力されます。
  - ・入力端子②に入力された信号は出力端子❶に出力されます。

- S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなど、映像再生機器が録画にも使用できる場合は、録画機器として使用できるようにJX-D300の出力端子と接続してお使いください。
- 選んでいる映像再生機器の映像信号がS映像入力端子からのみ入力されているときでも、モニター出力端子のD映像(D4)端子から映像信号が出力されます**(S映像信号→コンポーネント信号変換)**。
- 入力端子③、④には映像再生専用の機器を接続してください。入力端子③、④から入力された信号は、出力端子❶、❷の両方に出力されます。機器からの出力信号が再び同じ機器に入力されることを防ぐため、録画/再生機器は入力端子①、②に接続してください。

- 他の機器の再生映像を見るには、その機器が接続された番号のSOURCE SELECTに切換えてください。
- LINK(リンク)機能を使って、接続した機器から出力される映像信号の有/無により、JX-D300の電源ON/OFFを連動させることができます(☞24ページ)。

1 「POWER」(本体の場合は ⏻/I STANDBY/ON)を押し、JX-D300の電源を入れる

- 本体の⏻/I STANDBY/ONランプが緑色に点灯します。

POWER

2 SOURCE SELECTの「1」を押し、見たい映像再生機器を選ぶ

- 本体のSOURCE SELECT1のランプが赤色に点灯します。

1

- すでにSOURCE SELECT1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

3 テレビの電源を入れ、入力を切換える

- モニター出力端子と接続した入力を選びます。

4 映像再生機器の電源を入れ、ディスクやテープを再生する

映像再生機器

再 生

基本操作

D端子またはコンポーネント端子付き機器の映像を見る（コンポーネント接続）

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

DVDプレーヤーなどを入力端子④と接続し、D端子またはコンポーネント端子付テレビをモニター出力端子に接続します。

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側 DVDプレーヤーなど

D映像出力端子へ

または

D4映像（D4）入力端子へ

コンポーネント出力端子へ（緑）（青）（赤）

S映像出力端子へ

（赤）（白）音声出力端子へ

：信号の流れ

（白）（赤）

LINK機能（☞24ページ）を使うために必要な接続です

④ S映像 音声 左 右 S1/S2 D4映像

背面

入力 ① ② ③ ④ 出力 ❶ ❷ モニター出力

（白）（赤）

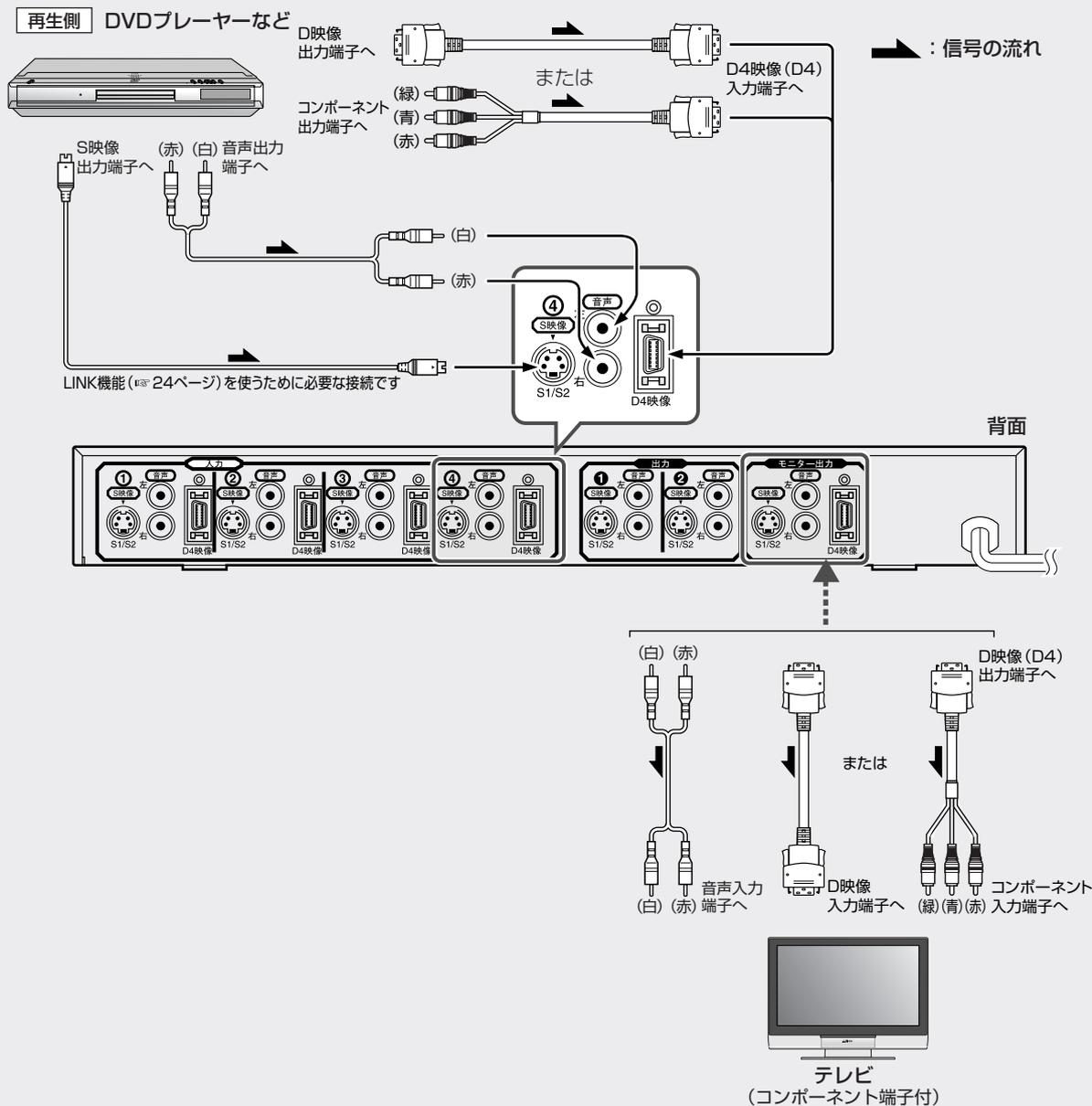
D映像（D4）出力端子へ

または

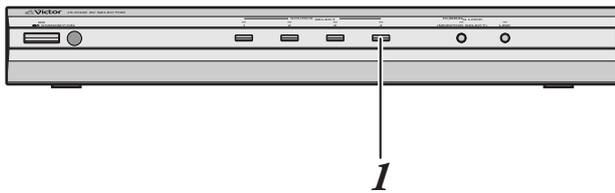
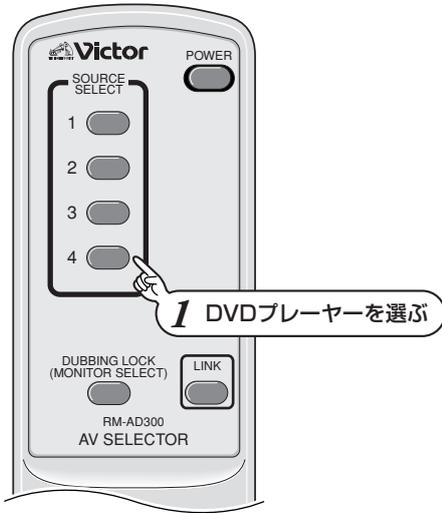
（白）（赤）音声入力端子へ

D映像入力端子へ

（緑）（青）（赤）コンポーネント入力端子へ

テレビ（コンポーネント端子付）

- コンポーネントビデオコードで接続する場合でも、S映像コードと音声コードをあわせて接続してください。S映像コードを接続しないと、LINK（リンク）機能（☞24ページ）が使用できません。また、音声コードを接続しないと音声が出力しません。
- D映像（D4）入力端子からの映像信号は、モニター出力端子のD映像（D4）出力端子からのみ出力されます。S映像端子からは出力されません（**☞9ページ「モニター出力端子を使用するときは」**）。
- 選んでいる映像再生機器の映像信号がS映像入力端子からのみ入力されているときでも、モニター出力端子のD映像（D4）端子から映像信号が出力されます（**S映像信号→コンポーネント信号変換**）。

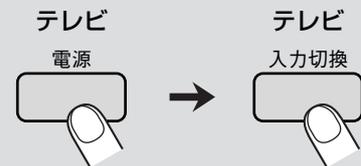
- DVDプレーヤーなどとテレビのD映像端子をコンポーネント接続すると、映像信号にしたがって画面サイズが自動的に切換わります。
  D端子と映像ピンの変換コードで接続する場合は、テレビ側で切換えてください。
- JX-D300のD映像（D4）端子では、ハイビジョン（1125i）・プログレッシブ（750p、525p）・従来の信号（525i）が扱えます。

● JX-D300の電源を入れてください。

1 SOURCE SELECTの「4」を押し、DVDプレーヤーを選ぶ

● 本体のSOURCE SELECT4のランプが赤色に点灯します。

● すでにSOURCE SELECT 4のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 テレビの電源を入れ、入力を切換える

● コンポーネント入力に切換えます。

3 DVDプレーヤーの映像を再生する

● テレビ画面にDVDプレーヤーの映像が出ます。

ダビングする(マルチダビング)

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

2台の録画/再生機器を入力端子①、②と出力端子❶、❷に接続し、相互にダビングできるようにしてみましょう。

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

録画/再生機器1

：録画/再生機器2で録画する場合の信号の流れ

：録画/再生機器1で録画する場合の信号の流れ

S映像 出力端子へ　(白)　(赤)　音声 出力端子へ　D映像 出力端子へ　S映像 入力端子へ　(白)　(赤)　音声 入力端子へ

(白)　(赤)

① 音声 S映像 左 右 S1/S2 D4映像　❶ 音声 S映像 左 右 S1/S2

① ② ③ ④ ❶ ❷ モニター出力

背面

② 音声 S映像 左 S1/S2 D4映像　❷ 音声 S映像 左 S1/S2　音声 S映像 左 右 S1/S2 D4映像

D映像 入力端子へ

(白)　(白) 音声 入力端子へ

(赤)　(赤)

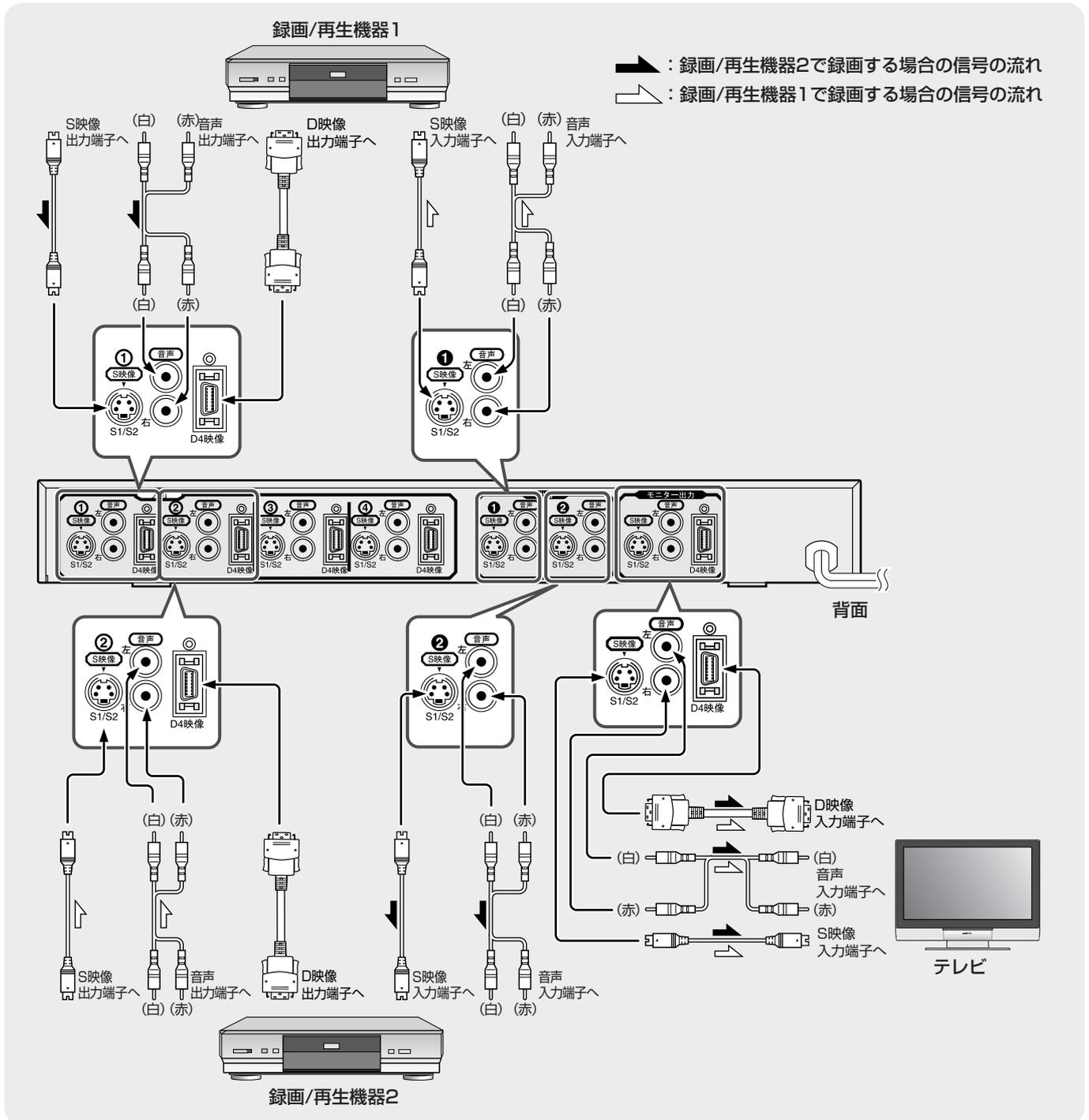
S映像 入力端子へ

テレビ

(白)　(赤)　(白)　(赤)

S映像 出力端子へ　音声 出力端子へ　D映像 出力端子へ　S映像 入力端子へ　音声 入力端子へ

(白)　(赤)　(白)　(赤)

録画/再生機器2

- 録画機器やテレビにD映像入力／出力端子があるときは、D映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます(**ダビングする場合、再生側の機器は、かならずS映像端子を接続してください**)。
- S映像入力端子とD映像(D4)入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD映像(D4)端子から出力されます(☞**9ページ「モニター出力端子を使用するときは」**)。
- 入力端子①、②から入力された信号は、それぞれ次のように出力端子❶、❷に出力されます。
  - ・ 入力端子①に入力された信号は出力端子❷に出力されます。
  - ・ 入力端子②に入力された信号は出力端子❶に出力されます。

- JX-D300の電源を入れてください。
- テレビの電源を入れて、JX-D300のモニター出力端子と接続した入力を選びます。
- 録画/再生機器の電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

● 機器2で録画する場合

1 SOURCE SELECTの「1」を押し、再生側の機器1を選ぶ

- 本体のSOURCE SELECT1のランプが赤色に点灯します。

- すでにJX-D300のSOURCE SELECT 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

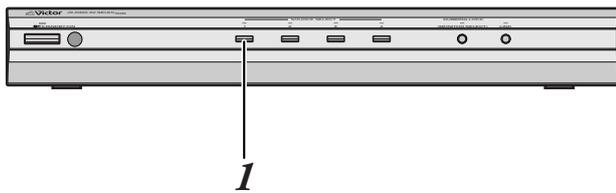
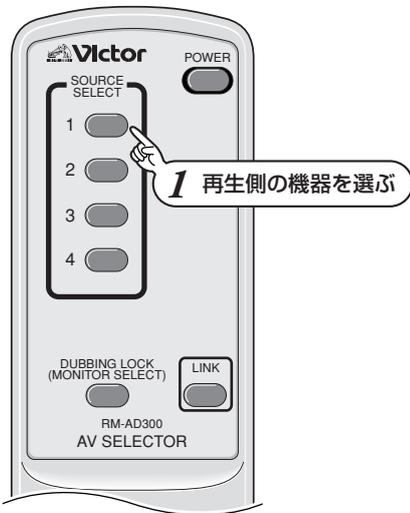
2 映像を再生する

機器1

3 機器2側で録画を開始する

機器2

ご注意

- ダビングするときは、録画機器の入力切換えスイッチなどを必ず外部入力モード(AUXなど)にしてください。
- 録画するときは、録画用ビデオを「S入力」にしてください。

- 録画中はSOURCE SELECTを切換えないでください。

ご注意

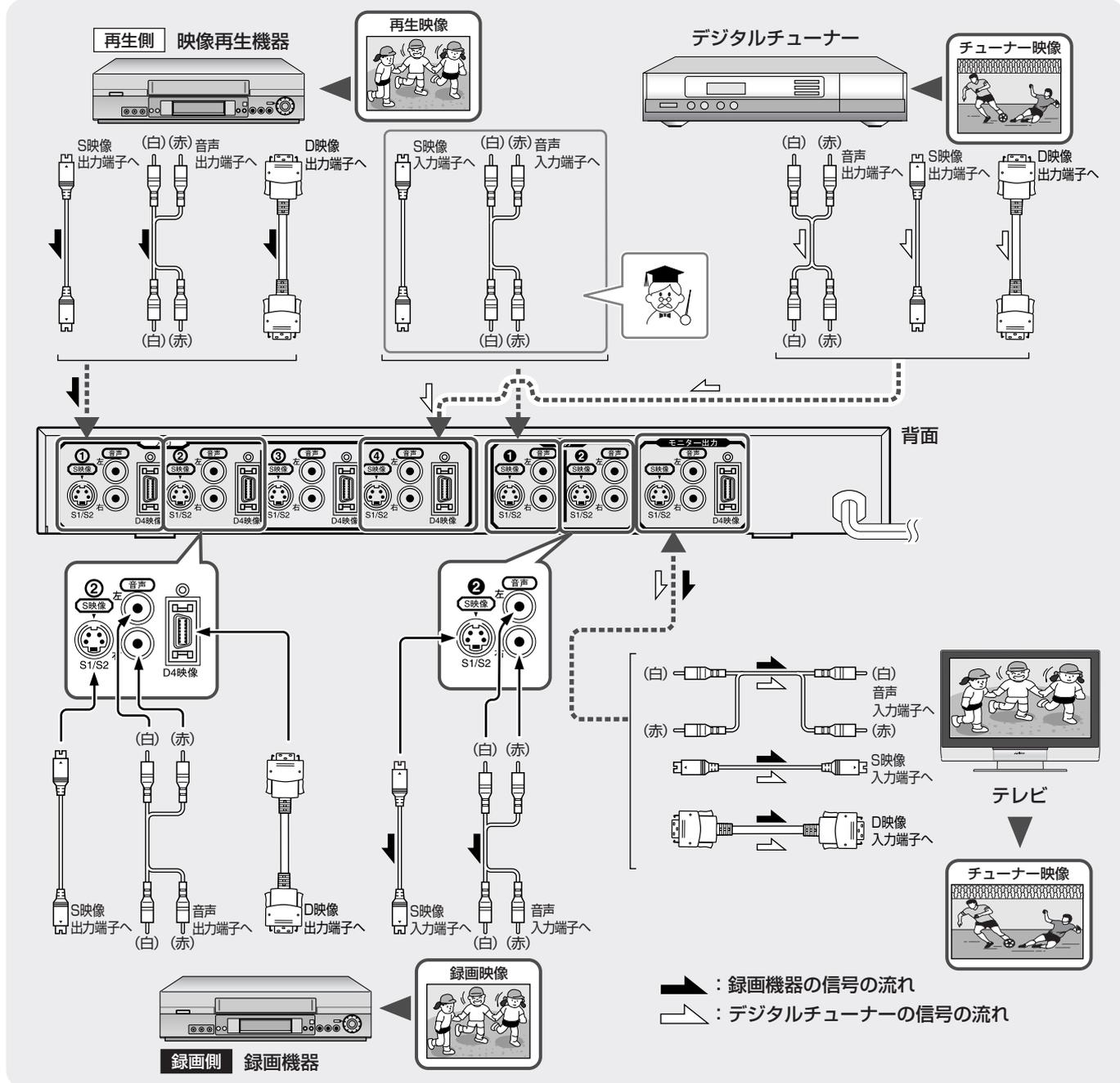
- ビデオやDVDのソフトによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。
- あなたがビデオテープなどに録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ダビングしながら他の映像を見る(ダビングロック)

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

映像再生機器を入力端子①に接続し、録画機器を出力端子❷に接続します。

つぎにデジタルチューナーを入力端子④に接続し、ダビングしながらデジタルチューナーの映像を見てみましょう。

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

再生側　映像再生機器

再生映像

デジタルチューナー

チューナー映像

S映像出力端子へ　(白)(赤)音声出力端子へ　D映像出力端子へ

S映像入力端子へ　(白)(赤)音声入力端子へ

(白)(赤)音声出力端子へ　S映像出力端子へ　D映像出力端子へ

背面

モニター出力

テレビ

(白)音声入力端子へ　(赤)

S映像入力端子へ

D映像入力端子へ

チューナー映像

S映像出力端子へ　音声出力端子へ　D映像出力端子へ

S映像入力端子へ　音声入力端子へ

録画映像

録画側　録画機器

：録画機器の信号の流れ

：デジタルチューナーの信号の流れ

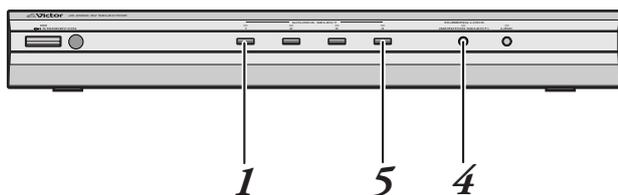
● 映像再生機器やテレビにD映像入力／出力端子があるときは、D映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます(**ダビングする場合、再生側の機器は、かならずS映像端子を接続してください**)。

● S映像入力端子とD映像(D4)入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD映像(D4)端子から出力されます(☞9ページ「モニター出力端子を使用するときは」)。

● 入力端子①、②から入力された信号は、それぞれ次のように出力端子❶、❷に出力されます。
  - 入力端子①に入力された信号は出力端子❷に出力されます。
  - 入力端子②に入力された信号は出力端子❶に出力されます。

● S-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなど、映像再生機器を録画にも使用できる場合は、録画機器としても使用出来るようにJX-D300の出力端子❶と接続してお使いください。

● 入力端子③、④には映像再生専用の機器を接続してください。入力端子③、④から入力された信号は、出力端子❶、❷の両方に出力されます。機器からの出力信号が再び同じ機器に入力されることを防ぐため、録画/再生機器は入力端子①、②に接続してください。

● JX-D300の電源を入れてください。
● テレビの電源を入れて、JX-D300のモニター出力端子と接続した入力を選びます。
● 映像再生機器と録画機器の電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

ダビングロックモードを解除するときは、、、

● もう一度DUBBING LOCKを押してください。

● ダビングロックモード中に、SOURCE SELECTを切換えると、ダビング中の映像はそのままに、モニター出力端子に接続されたテレビの映像のみを切換えることができます。

1 SOURCE SELECTの「1」を押し、映像再生機器を選ぶ

● 本体のSOUCE SELECT1のランプが赤色に点灯します。

● すでにSOURCE SELECT1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 映像を再生する

● テレビ画面に映像再生機器の映像が出ます。

3 録画機器側で録画を開始する

4 「DUBBING LOCK」を押し、ダビングロックモードにする

● 本体のDUBBING LOCK (MONITOR SELECT)のランプが赤色に点灯します。

5 SOURCE SELECTの「4」を押し、デジタルチューナーの映像を見る

● SOURCE SELECTの1と4のランプが赤色に点灯します。
● テレビ画面にデジタルチューナーの映像が出ます。

ご注意

● DUBBING LOCKボタンを押すと、POWER（本体の場合は⏻/I STANDBY/ON）およびLINKのボタン操作は無効になります。

ホームシアター

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

シアターシステムでＤＶＤソフトを楽しみながら、映像再生機器の映像/音声をダビングしてみましょう。

●接続は一例を示したものです。各機器の接続および操作のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

センタースピーカー

スクリーン

フロントスピーカー

フロントスピーカー

リアスピーカー

リアスピーカー

プロジェクター

モニター出力の
D映像（D4）端子、
S映像端子より

AVアンプ

S-VHSビデオデッキ2

モニター出力の
音声端子より

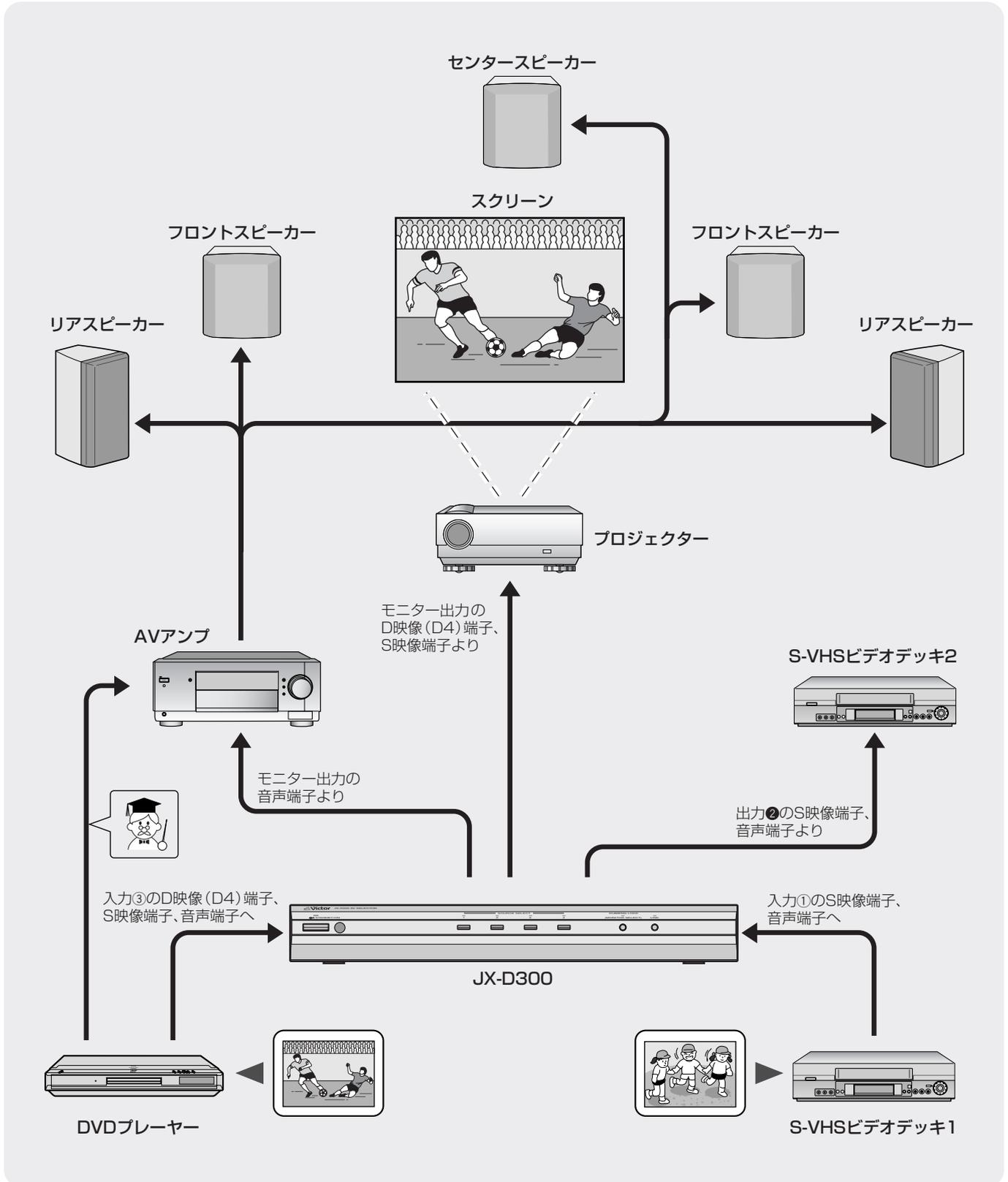
出力❷のS映像端子、
音声端子より

入力③のD映像（D4）端子、
S映像端子、音声端子へ

入力①のS映像端子、
音声端子へ

JX-D300

DVDプレーヤー

S-VHSビデオデッキ1

● AVアンプでマルチチャンネルサラウンド音声を楽しむ場合は、映像再生機器の音声出力端子をAVアンプと直接接続してください。

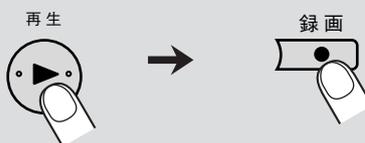
- JX-D300の電源を入れてください。
- 使用する機器の電源を入れて、入力を切換えるなどの準備をしておきます。

1 SOURCE SELECTの「1」を押し、S-VHSビデオデッキ1を選ぶ

- 本体のSOURCE SELECT1のランプが赤色に点灯します。

- すでにSOURCE SELECT1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。

2 S-VHSビデオデッキ1を再生し、S-VHSビデオデッキ2側で録画を開始する

S-VHSビデオデッキ1　S-VHSビデオデッキ2

3 「DUBBING LOCK」を押し、ダビングロックモードにする

- 本体のDUBBING LOCK (MONITOR SELECT)のランプが赤色に点灯します。

DUBBING LOCK
(MONITOR SELECT)

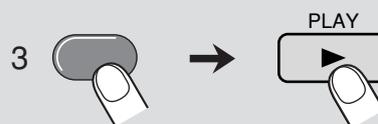
4 SOURCE SELECTの「3」を押し、スクリーンでDVDプレーヤーの映像を見る

- 本体のSOURCE SELECTの1と3のランプが赤色に点灯します。

DVDプレーヤー

- ダビング中であっても「DUBBING LOCK」を押すことにより、ダビング中の映像はそのままに、SOURCE SELECTで選ばれた他の映像を見ることができます。

ご注意

- ビデオやDVDのソフトによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。
- あなたがビデオテープなどに録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- DUBBING LOCKボタンを押すと、POWER（本体の場合は⏻/I STANDBY/ON）およびLINKのボタン操作は無効になります。

知っていると便利

D映像入出力端子について

- D映像入出力端子は、映像信号のY/Cb(Pb)/Cr(Pr)(輝度信号／青色差信号／赤色差信号)をそれぞれ独立して受け渡すコンポーネント信号の端子です。
- JX-D300のD映像(D4)端子では、ハイビジョン(1125i)・プログレッシブ(750p、525p)・従来の信号(525i)が扱えます。
- D映像端子付きのテレビや映像再生機器に接続し、色のキレがよく、ちらつきのない画質で再生できます。

S映像入出力端子について

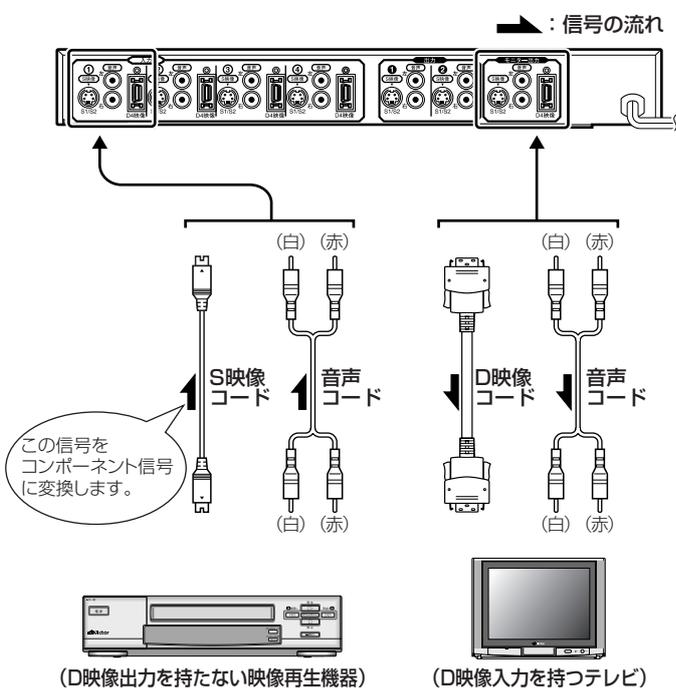
- S映像入出力端子は、映像信号のY/C(輝度信号／色信号)をそれぞれ独立して受け渡すS映像信号の端子です。
- S映像端子付き録画／再生機器の録画／再生時に接続し、映像信号のロスをおさえ、通常のコンポジット映像端子より、きれいな録画／再生ができます。

S映像信号→コンポーネント信号変換について

- JX-D300は、S映像入力端子に入力したS映像信号を、D映像(D4)出力端子へコンポーネント信号として出力する変換回路を内蔵しています。

  D映像端子のない映像再生機器からD映像端子付きのテレビへ映像を出力するときに便利です。
- S映像信号から変換されたコンポーネント信号はD1(525i)映像信号となります。

ご注意

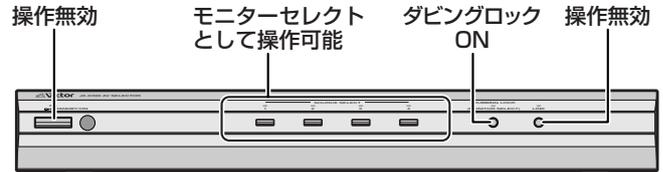
- S映像入力端子とD映像(D4)入力端子の両方が接続されている場合、それぞれの信号がモニター出力端子のS映像端子とD映像(D4)端子から出力されます(☞9ページ「モニター出力端子を使用するときは」)。
- コンポーネント信号に変換された映像の画質は元のS映像信号のものと同等です。
  信号変換によって画質向上するものではありません。

S映像信号→コンポーネント信号変換の例

DUBBING LOCK（ダビング ロック）ボタンについて

● DUBBING LOCKボタン

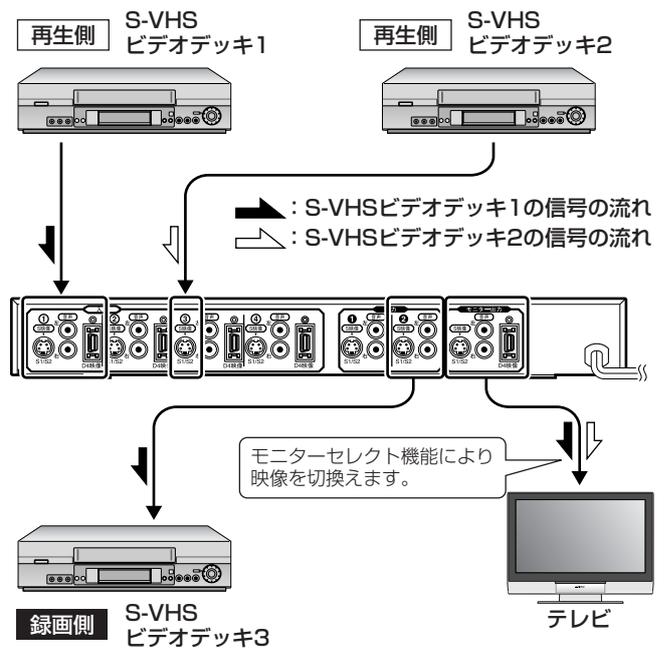
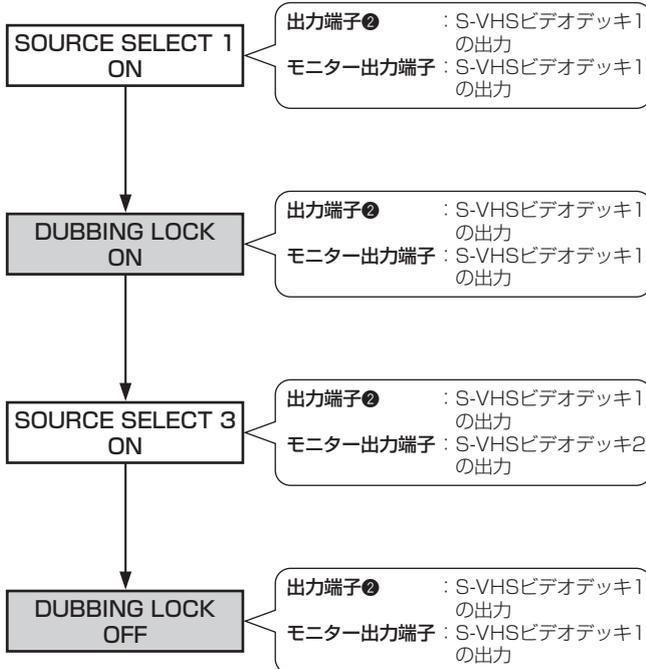
誤操作を防ぐためのダビングロック機能と、録画しながら他の映像を見るためのモニターセレクト機能として使用できます。

ー ダビングロック機能 ー

録画用ビデオデッキなどが動作中のとき、「DUBBING LOCK」ボタンを押すと、「POWER」（本体の場合は ⏻/I STANDBY/ON）ボタンと「LINK」ボタンの操作を無効にします。
また、誤って「SOURCE SELECT」ボタンを押しても、出力端子から出力される信号は変わらず、そのまま録画が行われます。

ー モニターセレクト機能 ー

「録画しながら他の映像を見る」ときなどに使います。録画中に「DUBBING LOCK」ボタンを押しダビングロックモードにすると、「SOURCE SELECT」ボタンでテレビに映る映像を切換えることができます。
（下の例では、SOURCE SELECT1と3のランプが赤色に点灯します。）

● ダビングロックボタンを使ったモニターセレクト機能の流れ

応用操作

LINK機能について

- **LINK機能を使うと、入力機器から出力される映像信号の有/無に対して、JX-D300の電源ON/OFFを連動(リンク)させることができます。**
  よくお使いになる機器にこの機能を設定しておくと、JX-D300の電源をON/OFFする手間が省けます。

ー 設定のしかた ー

JX-D300の電源のON/OFFを連動させたい機器をSOURCE SELECTで選び、「LINK」ボタンを押します(LINKランプが赤色に点灯します)。

ー LINK機能を使うと ー

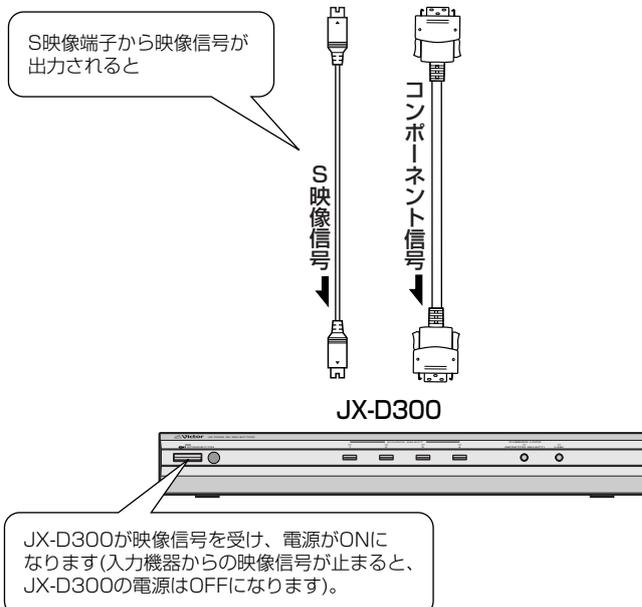
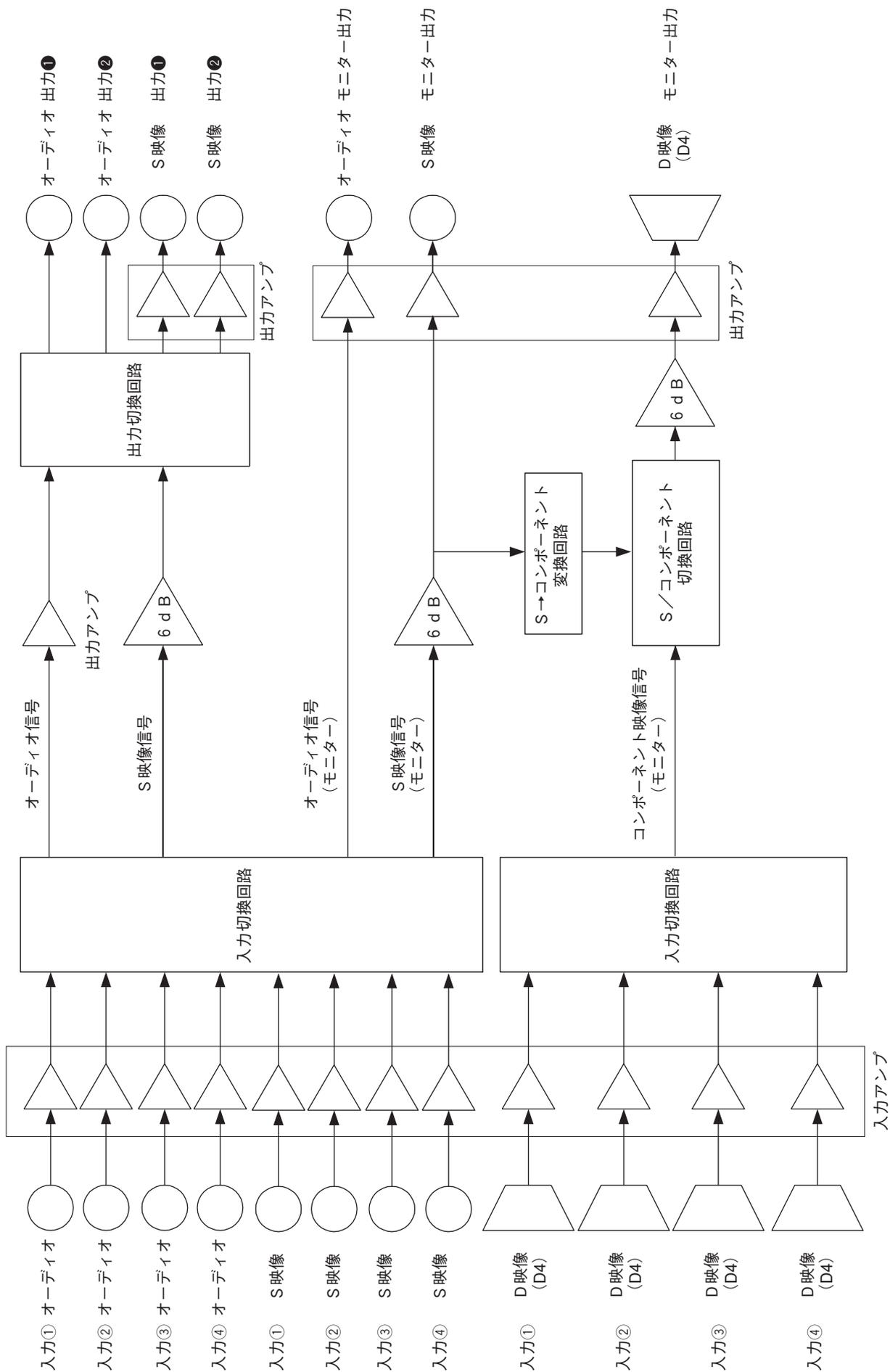
LINK機能を設定した機器から映像信号が出力されているときは、JX-D300の電源も自動的にONになります。
また、その機器が映像信号の出力を停止すると、JX-D300の電源も自動的にOFFになります。

- LINK機能を切りたいときは、もう一度「LINK」ボタンを押します(LINKランプが消灯します)。

ご注意

- **LINK機能を使用したい機器は、必ずS映像端子も使ってJX-D300と接続してください。D映像端子のみで接続している場合は、LINK機能は使用できません。**
- **LINK機能を設定していない機器を使用したいときは、あらかじめ「LINK」ボタンを押して、LINK機能を切ってからJX-D300の電源を入れてください。**
  もう一度LINK機能を使用するには、再設定を行ってください。
- **DUBBING LOCK機能とLINK機能の両方がONのときにLINK機能を切りたい場合は、以下の手順で行ってください。**
  1. **「DUBBING LOCK」ボタンを押してDUBBING LOCK機能を切る**
     DUBBING LOCK(MONITOR SELECT)ランプが消灯します。
  2. **「LINK」ボタンを押してLINK機能を切る**
     LINKランプが消灯します。

ブロックダイヤグラム

その他

故障かな？と思ったら

● JX-D300は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても正しく動作しないときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み動作を確認してください。

	症　状	原　因	処　置	ページ
電源	**電源が入らない**	• 電源コードがコンセントから抜けていませんか？	• 電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。	**—**
	電源がOFFできない	• DUBBING LOCK機能がONになっていませんか?	• DUBBING LOCK機能をOFFにしてから、電源ボタンを押してOFFにしてください。	**18、19、23**
	電源が入ってもすぐOFFになる	• LINK機能がONになっていませんか?	• LINK対象機器の電源を入れたあと、LINKボタンを押してください。	**24**
再生	**見たい映像が見られない**	• 入力端子に機器が正しく接続されていますか？	• もう一度確かめて、正しく接続してください。	**12、13、14、15、**
		• モニター出力端子にテレビが正しく接続されていますか？	• もう一度確かめて、正しく接続してください。	**12、13、14、15、**
録画	**ダビングしたはずのテープに映像が録画されていない**	• 再生用または録画用機器が入/出力端子に正しく接続されていますか？また、SOURCE SELECTボタンが正しく選ばれていますか?	• もう一度確かめて正しく接続し、SOURCE SELECTボタンを選んでください。	**16、17**
		• DUBBING LOCK機能がONになっていませんか？	• DUBBING LOCK機能をOFFにしてからSOURCE SELECTボタンを選んでください。	**18、19、23**
		• 録画用機器の入力切換スイッチが「外部」になっていますか?	• 録画機器の入力切換スイッチを「外部」にしてください。	**17**
		• 録画用機器側で、映像切換スイッチの「入力信号」が正しく設定されていますか ?	• 録画機器の映像切換スイッチを正しく合わせてください。	**17**
		• コピー禁止のソフトではありませんか?	• ビデオやDVDのソフトによっては、コピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。	**17**
	D端子で接続した機器からダビングができない	• S端子も同時に接続していますか？	• D映像入力端子からの映像信号はS映像信号には変換されません。入力端子のD4映像端子とS映像端子を同時に接続してください。	**14、15**
	ダビングしたテープに音声が録音されていない	• 音声入力端子は正しく接続されていますか?	• もう一度確かめて、正しく接続してください。	**16、17**

症　状		原　因	処　置	ページ
見る	テレビに映像が映らない	• 見たい機器のSOURCE SELECTボタンが正しく選ばれていますか?	• もう一度確かめて、SOURCE SELECTボタンを選んでください。	**12、13**
		• モニター出力端子にテレビが正しく接続されていますか?	• もう一度確かめて、正しく接続してください。	**12、13**
		• テレビの入力切換は正しいですか?	• テレビの入力切換を確認してください。	**12、13**
	コンポーネント端子付きテレビに映像が映らない	• D端子付きのテレビの接続や設定を間違えていませんか？	• もう一度、テレビの取扱説明書を見ながら設定とD端子の接続を確かめてください。 D端子が無いテレビの場合でも、Y/Cb/CrまたはY/Pb/Pr端子付きであれば、変換コードを使用して接続できます。	**14**
その他	LINK機能が使えない	• S映像端子も同時に接続していますか？	• LINK機能を使うにはS映像端子の接続が必要です。 LINK機能を使いたい機器を接続するときはD4映像端子だけでなく、S映像端子も接続してください。	**24**
	リモコンで操作できない	• リモコンの乾電池が消耗していませんか？	• リモコンの乾電池を2本とも新しい乾電池に交換してください。	**11**
		• 乾電池の極性(⊕と⊖)を間違えて入れていませんか？	• 正しく入れ直してください。	**11**

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 3874-5231	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下々条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴫田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.C.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0904

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間

このAVセレクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口(☞**28**ページ)にお問い合わせください。

保証期間

お買い上げから1年間です。

修理を依頼されるときは　出張修理

26、**27**ページの「故障かな?と思ったら」にしたがってお調べいただき、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	AVセレクター
型　　名	**JX-D300**
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印も併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	(　　)　　−
訪問希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただくこともあります。

便利メモ

お買い上げの販売店	お近くのビクターサービス窓口
電話(　　)　　−	電話(　　)　　−

主な仕様

仕様および外観は、改善のため予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください。

商品名	AVセレクター
入出力端子	入力　4系統（D4映像、S映像、音声L/R）×4、 出力　2系統（S映像、音声L/R）×2 モニター出力　1系統（D4映像、S映像、音声L/R）×1
映像入力	**基準入力** • S映像信号 Y　：Vp-p = 1.0V (75Ω) C　：Vp-p = バースト 0.286V、シアン 0.642V (75Ω) • コンポーネント映像信号 Y　：Vp-p = 1.0V (75Ω) Pb　：Vp-p = 0.7V (75Ω) Pr　：Vp-p = 0.7V (75Ω)
	最大入力 • S映像信号 Y　：Vp-p = 1.5V (75Ω) C　：Vp-p = バースト 0.429V、シアン 0.963V (75Ω) • コンポーネント映像信号 Y　：Vp-p = 1.5V (75Ω) Pb　：Vp-p = 1.05V (75Ω) Pr　：Vp-p = 1.05V (75Ω)
映像出力 （基準入力時）	**S映像信号** Y　：Vp-p = 1.0V (75Ω) C　：Vp-p = バースト 0.286V、シアン 0.642V (75Ω) **コンポーネント信号** Y　：Vp-p = 1.0V (75Ω) Pb　：Vp-p = 0.7V (75Ω) Pr　：Vp-p = 0.7V (75Ω)
映像クロストーク	50dB以上（同CH Y/C間および同CH Y/Pb/Pr間 45dB以上）
映像S／N比	50dB以上
映像周波数帯域	S映像信号：10 MHz　　コンポーネント信号：30 MHz
音声入力	基準入力　－10dBV 最大入力　＋6dBV
音声出力	－10dBV（基準入力時）
音声クロストーク	80dB以上（1kHz）
音声S／N比	80dB以上
音声周波数特性	5Hz～50kHz
歪率	0.03%以下
電源	AC100V　50Hz/60Hz
消費電力	6W　（スタンバイ時 2W未満）
外形寸法	幅 43.5 cm × 高さ 6.4 cm × 奥行き 28.2 cm　（突起部、脚部を含む）
本体質量	2.4 kg
付属品	リモコン 単3乾電池　2本（動作確認用）

用語解説

マルチダビング
複数の機器を再生用または録画用として、どちらの用途でも自由に選べてダビングできること。

S映像信号
従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

S1映像信号
S映像信号にフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。
16:9のワイド画面でお楽しみいただけます。

S2映像信号
S1映像信号に加え、ワイドクリアビジョン放送であるかを自動識別するための識別信号を重畳させた信号です。

コンポジット映像信号
S映像信号の輝度信号(Y)と色信号(C)を合成した信号です。

コンポーネント端子
DVDなどの高画質な映像信号(Y/Pb/Pr、Y/Cb/Cr)を信号間の干渉なく高性能モニターに送ります。

D映像端子
コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。

• JX-D300のD端子は「D4」まで対応しています。

D1	525i
D2	525p(525i)
D3	1125i(525p、525i)
D4	750p(1125i、525p、525i)
D5	1125p(750p、1125i、525p、525i)

索引

五十音順

アルファベット順

JX-D300　AVセレクター　取扱説明書

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
28ページをご覧ください。	フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話　(03) 5684−9311** **FAX　(03) 5684−9317** 〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル

28ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12